

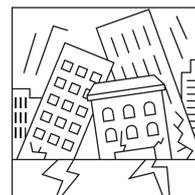


ちがさき

たいあっぷ通信



もし、夜中に大地震が起きたら…



深夜、家族みんなが眠っている時間。

突然、眠りを奪うような大きな揺れが襲ってきたら——あなたはどう動きますか？

最近も、日本では夜遅くに強い地震が起きています。

2025年12月8日、午後11時15分ごろ、青森県東方沖でマグニチュード7.5の地震が発生し、八戸市などで震度6強の揺れが観測されました。深夜の揺れに驚き、避難行動を取った人が多くいたと報じられています。

昼間であれば窓の外の状況も見えますが、暗闇の中で揺れに襲われると、状況は一気に複雑になります。

家具や家電が倒れ、通路がふさがれ、倒れてきたものにぶつかる危険も増します。

夜の地震は、ただ時間帯が違うだけでなく、視界が利かない分、思わぬ怪我につながる可能性があるのです。

しかも、夜に起きる地震は決して珍しいことではありません。

過去の大きな揺れの中でも、夜や未明に発生した例があります。夜間は私たちが眠っている時間帯であるため、身動きが取れずに危険な状況に陥る可能性が高くなります。

大切なのは、「いつ起きてもおかしくない」という意識です。

地震が夜に起きた時でも、安全に行動できるように、日ごろから備えておくことが命を守ります。

なぜ耐震が必要なのか

家が倒れると、何が起きる？

大地震の被害は、揺れそのものよりも建物の倒壊によって大きくなります。

もし家が倒れたり、大きく壊れたりすると、次のようなことが起こります。

●命にかかわる危険が高まります

家屋が倒壊すると、下敷きになり圧死や重い怪我につながるおそれがあります。

地震による死亡原因の多くは、建物の倒壊です。

●逃げたくても、外に出られません

倒れた家具や壁で通路や出入口がふさがれると、

避難や救助がすぐにできない場合があります。

●生活の再建に時間がかかります

家が大きく壊れると住み続けることができず、

仮住まいや修理など、元の生活に戻るまで時間がかかります。



「耐震」について

市民の皆様からいただく質問

不安や疑問を解消することが、耐震化への第一歩です。
よくある質問にお答えします。

Q1

今住んでいる家は

A. 地震に強いですか？

1981年以前の住宅は耐震性が不足している可能性があります。1981年以降は新たな耐震基準となり、2000年以降はさらに基準が強化されています。不安な場合は、耐震診断をご検討ください。

Q2

古い家では必ず危険

なのでしょうか？

A.

古い建物でも、耐震補強が行われていれば安全性は高まります。一方、補強されていない場合は、大きな地震で倒壊するおそれがあります。

木造住宅の耐震診断や耐震補強に補助金があります。

家の構造
ミーナ



Q3

耐震補強をすれば
絶対に安全ですか？

A.

耐震補強は「倒壊を防ぎ、命を守る」ことが目的です。被害を完全になくすものではありませんが、安全性は大きく向上します。

Q4

耐震補強工事中は

住めないのですか？

A.

工事の内容によりますが、多くの場合は住みながらの工事になります。工事期間や生活への影響は、事前にしっかり確認しましょう。

Q5

耐震補強工事の金額は
どのくらいですか？

A.

耐震補強に係る費用は、住宅の古さ、大きさ、構造、工事の方法などによって変わりますが、例えば、築50年、2階建て、延べ面積約100㎡の木造住宅を改修すると、224万円ほどかかるというモデルケースがあります。

(国土交通省HPより)

Q6

耐震・制震・免震って
何が違うのですか？

A.

耐震：建物をガッチリ強くして揺れに耐える
制震：建物の中で揺れを小さくして抑える
免震：地面の揺れを建物に伝えにくくする

Q7

家具転倒防止は
必要ですか？

A.

とても重要です。地震による怪我の多くは、家具の転倒や落下が原因です。避難経路を確保するため、家具の固定や家具の配置の見直しを行いましょう。

市では家具転倒防止金具取付支援事業を行っているぞよ。

ちがは舞臺
えぼし麻呂



茅ヶ崎たいあっぷ推進協議会

(茅ヶ崎市 建築指導課 安全担当) 事務局

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1
(本庁舎3階)

補助金や支援事業についてもっと詳しく知りたい方・・・
協議会に参加をご希望の方・・・

まずはお気軽にお問い合わせください！

☎ 0467-81-7185

【受付時間】 9:00~17:00 (月~金)

